

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成30年1月12日

協議会名: 阿賀野市地域公共交通協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
事業者名:阿賀野市 運行系統名:前山線(700)	阿賀野市役所～前山～京和荘	総合時刻表、路線別時刻表の作成、配布による啓発活動を行った。市広報紙で特集記事を掲載した。朝の通学時間帯における鉄道への接続を引き続き確保した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A 目標である前年度実績1日平均1.3人に対し、1.7人で目標を達成した。	・路線別時刻表及び前山地区の新高校1年生向け市営バス通学促進パンフレットの作成、配布を行う。 ・市広報紙、ホームページ等で周知を図る。 ・朝の通学時間帯における鉄道への接続を引き続き確保する。
事業者名:阿賀野市 運行系統名:前山線(701)	阿賀野市役所～前山～京和荘	総合時刻表、路線別時刻表の作成、配布による啓発活動を行った。市広報紙で特集記事を掲載した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A 目標である前年度実績1日平均1.3人に対し、1.4人で目標を達成した。	・路線別時刻表の作成、配布を行う。 ・市広報紙、ホームページ等で周知を図る。
事業者名:阿賀野市 運行系統名:前山線(702)	阿賀野市役所～前山～京和荘	総合時刻表、路線別時刻表の作成、配布による啓発活動を行った。市広報紙で特集記事を掲載した。露天市への市営バス利用について、市場組合と連携して、周知・PRを行った。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	C 目標である前年度実績1日平均3.2人に対し、3.1人で目標を達成できなかった。通院利用が減少したためと考えられる。	・路線別時刻表の作成、配布を行う。 ・市広報紙、ホームページ等で周知を図る。 ・通院、買い物などが普段利用するルート・時刻だけを抽出したオリジナル時刻表の作成サービスや市営バスの利用方法がわからない方のための出前講座を実施する。
事業者名:阿賀野市 運行系統名:前山線(703)	阿賀野市役所～前山～京和荘	総合時刻表、路線別時刻表の作成、配布による啓発活動を行った。市広報紙で特集記事を掲載した。医療機関の診療時間を踏まえた時刻変更を検討するため、利用者への聴き取りを行ったが、「現状のままよい。」との意見が多かったことから、時刻変更は見送った。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	C 目標である前年度実績1日平均4.7人に対し、4.0人で目標を達成できなかった。通院・通勤利用が減少したためと考えられる。	・路線別時刻表の作成、配布を行う。 ・市広報紙、ホームページ等で周知を図る。 ・通院、買い物などが普段利用するルート・時刻だけを抽出したオリジナル時刻表の作成サービスや市営バスの利用方法がわからない方のための出前講座を実施する。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況		⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
事業者名:阿賀野市 運行系統名:前山線(704)(705)	阿賀野市役所～前山～京和荘	総合時刻表、路線別時刻表の作成、配布による啓発活動を行った。市広報紙で特集記事を掲載した。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	A	目標である前年度実績1日平均1.2人に対し、2.3人で目標を達成した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路線別時刻表の作成、配布を行う。</li> <li>・市広報紙、ホームページ等で周知を図る。</li> </ul>
事業者名:阿賀野市 運行系統名:神山線(902)	笹神支所～熊堂～阿賀野市役所	総合時刻表、路線別時刻表の作成、配布による啓発活動を行った。市広報紙で特集記事を掲載した。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	C	目標である前年度実績1日平均6.4人に対し、5.9人で目標を達成できなかった。通院利用が減少したためと考えられる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路線別時刻表の作成、配布を行う。</li> <li>・市広報紙、ホームページ等で周知を図る。</li> <li>・通院、買い物などが普段利用するルート・時刻だけを抽出したオリジナル時刻表の作成サービスや市営バスの利用方法がわからない方のための出前講座を実施する。</li> </ul>
事業者名:阿賀野市 運行系統名:神山線(903)	阿賀野市役所～熊堂～笹神支所	総合時刻表、路線別時刻表の作成、配布による啓発活動を行った。市広報紙で特集記事を掲載した。医療機関の診療時間を踏まえた時刻変更を検討するため、利用者への聴き取りを行ったが、「現状のままでもよい。」との意見が多かったことから、時刻変更は見送った。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	A	目標である前年度実績1日平均2.9人に対し、2.9人で目標を達成した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路線別時刻表の作成、配布を行う。</li> <li>・市広報紙、ホームページ等で周知を図る。</li> </ul>
事業者名:阿賀野市 運行系統名:神山線(904)	神山駅前～中ノ通～阿賀野市役所	総合時刻表、路線別時刻表の作成、配布による啓発活動を行った。市広報紙で特集記事を掲載した。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	A	目標である前年度実績1日平均4.7人に対し、4.8人で目標を達成した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路線別時刻表の作成、配布を行う。</li> <li>・市広報紙、ホームページ等で周知を図る。</li> </ul>
事業者名:阿賀野市 運行系統名:神山線(906)	笹神支所～中ノ通～阿賀野市役所	総合時刻表、路線別時刻表の作成、配布による啓発活動を行った。市広報紙で特集記事を掲載した。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	A	目標である前年度実績1日平均1.2人に対し、1.3人で目標を達成した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路線別時刻表の作成、配布を行う。</li> <li>・市広報紙、ホームページ等で周知を図る。</li> </ul>

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
事業者名:阿賀野市 運行系統名:神山線(901)	阿賀野市役所～中ノ通～笹神支所	総合時刻表、路線別時刻表の作成、配布による啓発活動を行った。市広報紙で特集記事を掲載した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	C 目標である前年度実績1日平均3.6人に対し、3.5人で目標を達成できなかった。買い物利用が減少したためと考えられる。	・路線別時刻表の作成、配布を行う。 ・市広報紙、ホームページ等で周知を図る。 ・通院、買い物などが普段利用するルート・時刻だけを抽出したオリジナル時刻表の作成サービスや市営バスの利用方法がわからない方のための出前講座を実施する。
事業者名:阿賀野市 運行系統名:神山線(905)	阿賀野市役所～中ノ通、熊堂～笹神支所	総合時刻表、路線別時刻表の作成、配布による啓発活動を行った。市広報紙で特集記事を掲載した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	C 目標である前年度実績1日平均0.7人に対し、0.5人で目標を達成できなかった。通院利用が減少したためと考えられる。	・路線別時刻表の作成、配布を行う。 ・市広報紙、ホームページ等で周知を図る。 ・通院、買い物などが普段利用するルート・時刻だけを抽出したオリジナル時刻表の作成サービスや市営バスの利用方法がわからない方のための出前講座を実施する。
事業者名:阿賀野市 運行系統名:神山線(907)	阿賀野市役所～中ノ通、熊堂～笹神支所	総合時刻表、路線別時刻表の作成、配布による啓発活動を行った。市広報紙で特集記事を掲載した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A 目標である前年度実績1日平均6.0人に対し、6.6人で目標を達成した。	・路線別時刻表の作成、配布を行う。 ・市広報紙、ホームページ等で周知を図る。
事業者名:阿賀野市 運行系統名:神山線(950)	笹神支所～熊堂、神山駅前、中ノ通～阿賀野市役所	総合時刻表、路線別時刻表の作成、配布による啓発活動を行った。市広報紙で特集記事を掲載した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	C 目標である前年度実績1日平均0.6人に対し、0.5人で目標を達成できなかった。通院利用が減少したためと考えられる。	・路線別時刻表の作成、配布を行う。 ・市広報紙、ホームページ等で周知を図る。 ・通院、日帰り温泉などが普段利用するルート・時刻だけを抽出したオリジナル時刻表の作成サービスや市営バスの利用方法がわからない方のための出前講座を実施する。
事業者名:阿賀野市 運行系統名:神山線(951)	阿賀野市役所～中ノ通、神山駅前、熊堂～笹神支所	総合時刻表、路線別時刻表の作成、配布による啓発活動を行った。市広報紙で特集記事を掲載した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	C 目標である前年度実績1日平均2.9人に対し、2.7人で目標を達成できなかった。通院利用が減少したためと考えられる。	・路線別時刻表の作成、配布を行う。 ・市広報紙、ホームページ等で周知を図る。 ・通院、買い物などが普段利用するルート・時刻だけを抽出したオリジナル時刻表の作成サービスや市営バスの利用方法がわからない方のための出前講座を実施する。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
事業者名:阿賀野市 運行系統名:安田地域循環線(02AB)	安田支所～宝珠温泉あかまつ荘～安田支所	総合時刻表、路線別時刻表の作成、配布による啓発活動を行った。市広報紙で特集記事を掲載した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	C 目標である前年度実績1日平均14.9人に対し、13.6人で目標を達成できなかった。日帰り温泉・通院利用が減少したためと考えられる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路線別時刻表の作成、配布を行う。</li> <li>・市広報紙、ホームページ等で周知を図る。</li> <li>・通院、日帰り温泉など自分が普段利用するルート・時刻だけを抽出したオリジナル時刻表の作成サービスや市営バスの利用方法がわからない方のため出前講座を実施する。</li> <li>・毎月26日(風呂の日)はあかまつ荘利用者の市営バス(帰り)を無料とするなど、あかまつ荘と連携した取組を検討する。</li> </ul>
事業者名:阿賀野市 運行系統名:安田地域循環線(04AB)	安田支所～宝珠温泉あかまつ荘～安田支所	総合時刻表、路線別時刻表の作成、配布による啓発活動を行った。市広報紙で特集記事を掲載した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A 目標である前年度実績1日平均4.7人に対し、4.9人で目標を達成した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時刻表の作成、配布を行う。</li> <li>・市広報紙、ホームページ等で周知を図る。</li> </ul>
事業者名:阿賀野市 運行系統名:安田地域循環線(05AB)	安田支所～宝珠温泉あかまつ荘～安田支所	総合時刻表、路線別時刻表の作成、配布による啓発活動を行った。市広報紙で特集記事を掲載した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	C 目標である前年度実績1日平均3.3人に対し、2.9人で目標を達成できなかった。日帰り温泉利用が減少したためと考えられる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路線別時刻表の作成、配布を行う。</li> <li>・市広報紙、ホームページ等で周知を図る。</li> <li>・通院、日帰り温泉など自分が普段利用するルート・時刻だけを抽出したオリジナル時刻表の作成サービスや市営バスの利用方法がわからない方のため出前講座を実施する。</li> <li>・毎月26日(風呂の日)はあかまつ荘利用者の市営バス(帰り)を無料とするなど、あかまつ荘と連携した取組を検討する。</li> </ul>
事業者名:阿賀野市 運行系統名:安田地域循環線(22B)(03AB)	横町～安田郵便局前～安田支所～宝珠温泉あかまつ荘～安田支所	総合時刻表、路線別時刻表の作成、配布による啓発活動を行った。市広報紙で特集記事を掲載した。露天市への市営バス利用について、市場組合と連携して、周知・PRを行った。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	C 目標である前年度実績1日平均9.5人に対し、9.4人で目標を達成できなかった。買い物・通院利用が減少したためと考えられる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路線別時刻表の作成、配布を行う。</li> <li>・市広報紙、ホームページ等で周知を図る。</li> <li>・通院、買い物など自分が普段利用するルート・時刻だけを抽出したオリジナル時刻表の作成サービスや市営バスの利用方法がわからない方のため出前講座を実施する。</li> </ul>

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
事業者名:阿賀野市 運行系統名:神山線全系統	車両減価償却費等国庫補助金、H27年11月、マイクロバス2台を14人乗りコミュニタ-2台に更新(リース)	利用者数を維持するため、総合時刻表、路線別時刻表の作成、配布による啓発活動を行った。市広報紙で特集記事を掲載した。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	C 目標である収支率4.0%以上及び6.0%以上に対し、3.3%及び5.3%で目標を達成できなかった。運行経費が変わらず、運賃収入が減少したためである。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時刻表の作成、配布を行う。</li> <li>・市広報紙、ホームページ等で周知を図る。</li> <li>・委託契約内容を見直し、運行経費の節減を図る。</li> </ul>

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

平成30年1月12日

協議会名：	阿賀野市地域公共交通協議会
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>阿賀野市内における公共交通は、市外へ通じる幹線交通である鉄道、民営路線バスを軸に、水原市街地から放射状に広がる阿賀野市営バスを運行し、公共交通網が市内全域に広がっている。</p> <p>阿賀野市で運行する市営バスは、朝夕は主に学生に利用され、日中は移動の手段を持たない高齢者を中心に、市内で唯一の総合病院であるあがの市民病院への通院や日常の買い物、日帰り入浴施設などに利用され、生活に必要な交通として機能している。また、新潟市・新発田市に通じる鉄道駅、新潟へ通じる民営路線バスの幹線交通に対する支線の役割も果たしている。</p> <p>しかしながら、平成16年度の運行開始から増加を続けていた市営バスも、平成21年度から人口減少と自家用車の普及により、利用者が減少し始め、収支悪化による行政負担の増加をはじめ、運行に様々な問題が発生している。また、鉄道や民営路線バスを利用できない交通空白地もあり、交通手段を持たない住民が日常生活を送る上で不便を強いられている状況にある。</p> <p>そのような状況の中で、当市においては、平成20年度から地域公共交通活性化・再生総合事業を活用して、阿賀野市地域公共交通総合連携計画を策定し、平成22・23年度に前山線、神山線、安田地域循環線の試験運行を実施し、平成23年度から地域公共交通確保維持事業を活用し、市営バスの運行を実施している。</p> <p>この市営バスの運行は、交通手段が確保されない地区において、公共交通を確保することができるとともに、地域間交通ネットワークにアクセスしているため、交通不便地区の住民が日常生活を送る上で、重要な運行となっているので、今後も同路線を確保・維持して行く必要がある。</p>